令和8年度		図面番号	／
区　別	芦田川右岸線道路災害復旧工事		
種　別			
図面名称	位 置 図(芦田川右岸線)	縮　尺	1/10,000
工事箇所	府中市　父石町　地内		

広 島 県 府 中 市



R8.9.1 改正

〔建設工事/最低制限価格〕

入札条件及び注意事項

1　入札方式

電子入札システム（以下「システム」 という。 ）を使用して入札を行うこと。（事務取扱は、府中市電子入札実施要領（以下「要領」という。）による。）

ただし、要領第４条第２項の規定に該当する場合は、同条項の定めに従い承認を得て、書面による入札を行うことができる。

2　入札保証金

免除する。

3　契約保証金

（１）契約の保証を必要とする場合

契約保証金の額は、請負代金額の１０分の１以上（低価格入札による請負契約の場合は請負代金額の１０分の３以上）の額を契約時に納付すること。ただし、金融機関若しくは保証事業会社の保証をもって納付に代えることができる。 また、公共工事履行保証証券による保証を付し又は、履行保証保険契約の締結を行った場合は、契約保証金の納付を免除する。

（２）契約の保証を必要としない場合

契約者が過去２年間に市、国又は他の地方公共団体と種類及び規模を同じくする契約を２回以上にわたって誠実に履行した実績を有する者であり、かつ、当該契約を履行しないこととなるおそれがないと認める場合は、予定価格が３００万円未満の工事について免除する。

4　入札書の提出方法

（１）指定した入札書受付期間に電子入札システムを使用して３桁のくじ番号を記載した入札書を提出すること。

要領で定める手続により書面参加に変更した者は、指定した入札書受付期間に代表者印（届出済代理人の場合は受任者印）を押印し、３桁のくじ番号を記載（くじ番号の記載のない場合は「００１」と記載されたものとする。）した入札書を、次の事項を記載した封筒に封入して監理課へ持参のうえ提出すること。

①　提出者の商号又は名称

②　入札書が在中している旨

③　当該入札等に係る建設工事等の名称及び開札日

5　工事費内訳書

（１）原則として、すべての競争入札において入札時に工事費内訳書の提出を求める。

（２）工事費内訳書の提出を必要としない場合は、入札公告又は指名通知書によって周知する。

（３）内容及び様式

①　記載事項

・　入札者の商号又は名称

・　代表者名（支店の場合は支店長名等）

・　工事名

・　工事費の内訳

② 工事費の内訳の記載について

工事費の内訳は、 配布した当該工事に係る仕様書の本工事費内訳書のうち、下記の項目に対応するものの単位、数量及び金額を表示したものとする。

（仕様書の本工事費内訳書に記載してもかまわない。その場合、下記※１の項目は内訳書下段に記載すること。）

<土木関係工事>

本工事費内訳書：費目、工種、種別

<建築・設備関係工事>

内訳書：名称及び摘要欄記載の工種

諸経費は項目ごと（共通仮設費、現場管理費、一般管理費）に記載すること。

※１ 次の項目についても記載すること

直接工事費のうち材料費、直接工事費のうち労務費、現場管理費のうち法定福利費の事業主負担額（建築関連工事の場合は工事原価のうち現場労働者の法定福利費の事業主負担額)、現場管理費のうち建設業退職金共済制度（建退共制度）の掛金、工事原価のうち安全衛生経費

※２ その他の工事で工事費内訳書を作成する場合は、原則として土木関係工事に準じて作成すること。

③ 様式

配布した当該工事に係る仕様書に準じて、原則Ａ４判（縦、横自由）で作成し、入札書をシステムで提出する際、システムの機能により添付を行い提出すること。ただし、要領で定める手続きにより書面参加に変更した者は、必要事項を記入し代表者印を押印した内訳書を次の事項を記載した封筒に封入し、指定した入札書受付期間に監理課へ持参のうえ提出すること。

・ 商号又は名称
・ 内訳書が在中している旨
・ 当該入札に係る建設工事の名称及び開札日

（４）提出を求めた工事費内訳書が次のいずれかに該当する場合は、入札を無効とする。

① 未提出であると認められる場合

・ 工事費内訳書の全部又は一部が提出されていない。
・ 無関係な書類である。
・ 他の工事の工事費内訳書である。

② 記載すべき事項が欠けている場合

・ 内訳の記載がない。
・ ゼロ計上の項目がある。

③ 記載すべき事項に誤りがある場合

・ 対象工事名に誤りがある。
・ 提出業者名に誤りがある。
・ 工事費内訳書の合計金額と入札金額が一致していない。
・ 工事費内訳書の合計金額と各内訳の合計金額が一致していない。

６ 落札者の決定方法

（１）条件付一般競争入札

公告共通事項に記載の手続きによる。

（２）通常型指名競争入札

開札の結果、落札となるべき同価格の入札した者が二人以上いるときは、これらの者

のうち、電子入札システムの電子くじによるくじ引きによって選ばれた者を落札者とする。ただし、抽選一抜け方式適用工事の場合、入札の執行順序が上位の工事において抽選で落札候補者となった者が、その後の入札において抽選で落札候補者となったときはこれを無効とする。

7　落札価格

落札価格は、入札書に記載された金額に当該金額の１００分の１０に相当する額を加算した金額（当該金額に１円未満の端数があるときは、その端数金額を切り捨てた金額）をもって落札価格とする。

8　契約の締結

落札者は、落札決定の通知を受けた日から５日（府中市の休日を定める条例第１条第１項に規定する市の休日を除く。以下同じ。）以内に契約を締結するものとし、議会の議決が必要な場合には落札決定の通知を受けた日から５日以内に仮契約を締結し、議決後本契約を締結するものとする。（議会の議決が必要な契約は、予定価格が１億５千万円以上である。）

なお、仮契約を締結した後、本契約を締結するまでの間に府中市建設業者等指名除外要綱に規定する指名除外等の措置を受けたときは、仮契約を解除することができる。

9　設計図書等

（１）監理課が指定する市ホームページからダウンロード、又は指定があるときは購入することができる。

購入する場合の代金は５００円とし、電子媒体（ＣＤ－Ｒ等に保存されたもの）によるものとする。

１０　設計図書に対する質問及び回答

（１）条件付一般競争入札

入札公告に記載のとおり

（２）通常型指名競争入札

質問書受付期間	指名の通知を行った日から３日間
質問回答期限	入札開始日の２日前
質問書提出方法	監理課に持参又はＦＡＸにより提出　FAX (0847)46-1535
回答方法	市ホームページで閲覧

１１　予定価格

（１）予定価格は、事前公表とする。（予定価格事後公表試行案件は除く。）

①　条件付一般競争入札の場合　　公告に記載のとおり

②　通常型指名競争入札の場合　　指名通知書に記載のとおり

（２）当該工事の予定価格を上回る入札を行った場合は失格となり、予定価格を事前に公表した場合には、指名除外の対象となる場合がある。

１２　最低制限価格・調査基準価格

「最低制限価格」を設定している。

価格は、事後公表とする。

最低制限価格を下回る入札を行った場合は、失格とする。

１３　各会計年度の支払限度額

設定していない。

１４　前払金

予定価格が３００万円以上の請負契約を対象とし、その前払額は、請負代金額の１０分の４以内とする。

ただし、入札公告等で別に定めのあるものを除く。

１５　中間前払金

請負代金額の１０分の２以内とする。ただし、本市が中間前払金の支払条件を満たしていると認めたときに限る。

１６　部分払

請負代金額が５００万円以上の請負契約を対象とする。

１７　入札辞退等

（１）通常型指名競争入札において、入札を辞退しようとするときは、入札書受付締切予定日時までにシステムを利用して辞退届を提出すること。

（２）通常型指名競争入札において、入札書受付締切予定日時までにシステムを利用して辞退届を提出しなかった電子入札者は失格とする。

１８　建設リサイクル法

建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律（平成１２年法律第１０４号。以下「法」という。）第９条第１項に規定する「対象建設工事」を請け負おうとする者は、落札決定通知の日から５日以内に、発注者（工事担当課）に対して、「法第１２条第１項に基づく書面」 を提出し、法第１０条第１項第１号から第５号までに掲げる事項について説明した上で、発注者（監理課）に対して、「法第１３条及び省令第４条に基づく書面」を提出しなければならない。

対象建設工事の落札者がこれらの書面をこの期間内に提出しない場合、契約を締結することができないものとし、落札者が落札しても契約を締結しないもの（契約締結拒否）として取扱う。

１９　公正な入札の確保等

（１）公正な入札の確保に努めるため、入札者は次に掲げる事項を遵守しなければならない。

①　入札者は、私的独占の禁止及び公正取引の確保に関する法律（昭和２２年法律第５４号）等に抵触する行為を行ってはならない。

②　入札者は、入札に当たっては、競争を制限する目的で他の入札者と入札価格又は入札意思についていかなる相談も行わず、独自に入札価格を定めなければならない。

③　入札者は、落札者の決定前に、他の入札者に対して入札価格を意図的に開示してはならない。

④　入札者は、市が談合情報等による調査を行う場合には、これに協力しなければならない。

（２）入札者が連合し、又は不穏の行動をなす場合において、入札を公正に執行することができないと認められるときは、当該入札者を入札に参加させず、又は入札の執行を延期し、若しくは取りやめることがある。 また、本市が入札談合に関する情報を入手した場合において、市の事情聴取等の結果

①　明らかに談合の事実があったと認められる証拠を得た場合には、 談合情報対応マニュアルに基づき、入札執行の延期若しくは取りやめ又は無効とする。

②　明らかに談合の事実があったと認定できないが、談合の疑いが払拭できない場合は、談合情報対応マニュアルに基づき、入札を無効とすることがある。

２０　地場製品の活用

工事用資材等については、 地場製品の積極的な活用に努めること。

２１　下請契約について

（１）社会保険等未加入対策について

①　受注者が、社会保険等未加入建設業者と一次下請契約することを原則禁止する。一次下請業者が社会保険未加入であることが判明した場合は、特別な事情がある場合を

除き、受注者に対して次の措置を行う。

措　　置	内　　容
指名除外の措置	契約違反に該当し、１か月(最大４か月)の指名除外を行う。
工事成績評定点の減点	指名除外措置に伴い、１３点(最大２０点)の減点を行う。
建設業許可行政庁への通報	一次下請業者に対しては、許可行政庁へ通報する。

また、二次以降の下請業者については、社会保険等に未加入であることが判明した場合は、建設業許可行政庁へ通報する。

② 受注者は、社会保険の加入に関する下請指導ガイドラインに基づき、下請企業の指導等に努めること。

③ 受注者は、下請企業との契約に当たっては、法定福利費を明示した標準見積書の活用等により、適正な法定福利費が確保されるよう努めること。

（２）当初工事請負代金額が３００万円未満の建設工事（舗装工事、法面工事、建築一式工事を除く。）において、「主たる部分」の下請負を行わないこと。

建設工事の主たる部分とは、以下に掲げるもの以外のすべての部分を指し、当該 「工事の主たる部分」 に該当するか否かの判断は、工事担当課の長及び監督員が行うものとする。

① 建設工事が一式工事である場合における他の工事種別に該当する工事
② 建設工事が専門工事である場合における他の工事種別に該当する付帯工事
③ 仮設工に該当する工事
④ 準備工に該当する工事
⑤ 雑工に該当する工事
⑥ その他基礎的又は準備的工事に該当する工事

また、設計図書において、あらかじめ下請負を認めない部分を指定する場合がある。あらかじめ指定された部分については、下請契約を締結することができない。

（３）市内業者へ発注する土木一式工事の施工に際して、工事の一部を下請させる場合は、以下に掲げるもの以外、原則市内に営業所を有する者に請負わせること。ただし、高度又は特殊な技術を要し技術的に対応できる業者が存在しない等の合理的な理由の届出がなされ承認する場合はこの限りでない。

【理由の届出の必要のない業種】

プレストコンクリート	法面処理	大工
左官	石	屋根
タイル	れんが	ブロック
鋼構造物	鋼橋上部	鉄筋
舗装	しゅんせつ	板金
ガラス	塗装	防水
内装仕上	機械器具設置	熱絶縁
電気通信	造園	さく井
建具	水道施設	消防施設
清掃施設		

（４）市外業者へ発注する工事について、下請負する場合には市内業者の積極的な活用に努めること。

２２　その他

（１）入札にあたっては、府中市契約規則、府中市建設工事執行規則、関係法令等及び設計

図書等の内容を承諾のうえ入札すること。

（２）この工事の予算措置について議会の議決を得られなかったときは、この公告に基づく入札手続は中止し、その場合、本市は入札参加者の被った損害を賠償する責を負わない。

（３）提出された書面等は返却しないものとし、公正取引委員会及び警察に提出する場合があるとともに、府中市情報公開条例に基づく公開請求があった際には公開の対象となる場合がある。

（４）入札等に係る費用は、入札者の負担とする。

（５）「入札公告」と「入札条件及び注意事項」又は「仕様書共通事項」の記載に相違がある場合、「入札公告」を優先する。

（６）指名競争入札において、その入札が１であるときは無効とする。

〔建設リサイクル法対象工事〕
R8.4.1 改正

入　札　条　件

建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律（平成１２年法律第１０４号。以下「法」という。）第９条第１項に規定する「対象建設工事」（下記≪対象工事の定義≫参照）を請け負おうとする者は，法第１２条第１項に基づき，法第１０条第１項第１号から第５号までに掲げる事項について記載した書面を交付して説明しなければならない。

また，請負契約の当事者は，法第１３条及び「特定建設資材に係る分別解体等に関する省令」（平成１４年国土交通省令第１７号。以下「省令」という。）第７条に基づき，①分別解体等の方法，②解体工事に要する費用，③再資源化等をするための施設の名称及び所在地，④再資源化等に要する費用について，請負契約に係る書面に記載し，署名又は記名押印して相互に交付しなければならない。

このため，対象建設工事の落札者は，次の事項に留意し，落札決定通知の日から５日以内に，発注者（工事担当課）に対して，「法第１２条第１項に基づく書面」を提出し，法第１０条第１項第１号から第５号までに掲げる事項について説明した上で，発注者（契約担当課）に対して，「法第１３条及び省令第７条に基づく書面」を提出しなければならない。

対象建設工事の落札者がこれらの書面をこの期間内に提出しない場合，契約を締結することができないものとし，落札者が落札しても契約を締結しないもの（契約締結拒否）として取扱う。

なお，この場合，当該落札者は，契約保証の措置を行うために要する費用その他一切の費用について，発注者に請求できない。

(1) 「法第１２条第１項に基づく書面」は，別紙様式（12 条関係様式）により作成すること。
(2) 「法第１３条及び省令第７条に基づく書面」は，別紙（13 条関係様式）により作成すること。
(3) 「法第１３条及び省令第７条に基づく書面」中の「解体工事に要する費用」及び「再資源化に要する費用」は直接工事費とすること。
(4) 「法第１３条及び省令第７条に基づく書面」中の「再資源化に要する費用」は，特定建設資材廃棄物の再資源化に要する費用とし，再資源化施設への搬入費に運搬費を加えたものとすること。

≪対象建設工事の定義≫
「対象建設工事」とは，次の（ア）に示す特定建設資材を使用した若しくは使用する予定又は特定建設資材の廃棄物が発生する（イ）の工事規模の建設工事をいう。
（ア）特定建設資材（１品目以上）
①コンクリート
②コンクリート及び鉄から成る建設資材
③木材
④アスファルト・コンクリート
（イ）工事規模

工事の種類	規模の基準
建築物解体工事	床面積の合計　８０㎡以上
建築物新築・増築工事	床面積の合計　５００㎡以上
建築物修繕・模様替工事	請負代金の額　１億円以上
建築物以外の工作物工事	請負代金の額　５００万円以上

（注）解体・増築の場合は，各々解体・増築部分に係る床面積をいう。

改正 R8.4.1

〔土木工事〕

仕様書共通事項

1　共通事項

（1）本工事の施工にあたっては、広島県制定「土木工事共通仕様書」並びに国土交通省制定「土木工事共通仕様書」に基づき実施すること。

（2）「設計図書」、「共通仕様書」若しくは「仕様書特記事項」の記載に相違がある場合、又は「設計図書」に定めのない事項については、別途監督員と事前に協議し、その指示に従うこと。

2　工期の設定について（契約約款第３１条関係）

本工事の工期は、１４日を限度として検査期間を見込んでいるので、工期末の１４日前までに工事を完成し、監督員に工事完成届を提出すること。

3　請負代金内訳書及び工程表の提出について（契約約款第３条関係）

（1）請負代金内訳書の提出について、入札時に工事費内訳書を提出した場合は、請負代金内訳書の提出について免除する。ただし、低価格入札等で調査が必要な場合は、別に詳細資料の提出を求める場合がある。

（2）工程表の提出は、工事請負代金額３００万円以上の工事に係る契約については免除する。工事請負代金額３００万円未満の工事に係る契約については、監督員と協議し、監督員の承認を受けた場合は免除とする。

4　施工計画書の提出について

工事請負代金額が３００万円以上の工事を受注した場合は、工事着手に先立ち施工計画書を監督員に提出すること。

5　現場代理人及び主任技術者・監理技術者の届出等について（契約約款第１０条関係）

（1）現場代理人及び主任技術者・監理技術者を定めて工事現場に置くときは、現場代理人及び主任技術者等指名（変更）届を契約締結後１４日以内に提出すること。

（2）現場代理人及び主任技術者・監理技術者の配置については、「府中市発注工事における技術者等の適正配置について」によるものとする。

6　施工体制台帳の提出等について（契約約款第７条の２関係）

（1）建設業法第２４条の７第１項の規定により施工体制台帳を作成したときは、その写しを監督員に提出すること。（提出された内容が変更された場合を含む。）

（2）受注者は、施工体制台帳の記載事項を遵守し、工事の施工にあたること。

（3）受注者は、建設業法施行規則第１４条の６により施工体系図を作成し、工事現場の工事関係者が見やすい場所及び公衆が見やすい場所に掲示すること。

7　作業員名簿の提出について

監督員へ作業員名簿の提出を行うこと。

８　「建設業退職金共済制度」に係る発注者用掛金収納書の提出について

工事請負代金額が３００万円以上の工事を受注した場合は、金融機関が発行する掛金収納書を請負契約締結後１ヵ月以内に提出すること。なお、この期間内に収納書を提出できない場合は、あらかじめその理由及び証紙購入予定について申し出ること。

９　「工事実績データ」の作成について

受注者は、受注時又は変更時において請負代金額が５００万円以上の工事について、工事実績情報サービス（コリンズ）に基づき、受注・変更・完成・訂正時に工事実績情報として「登録のための確認のお願い」を作成し、監督員の確認を受けたうえ、受注時は本契約締結後、土曜日、日曜日、祝日等を除き１０日以内に、登録内容の変更時は変更があった日から土曜日、日曜日、祝日等を除き１０日以内に、完成時は工事完成後、土曜日、日曜日、祝日等を除き１０日以内に、訂正時は適宜登録機関に登録をしなければならない。

なお、共通仮設費率に「ＣＯＲＩＮＳ登録にかかる費用」を見込んでいる。

また、登録機関発行の「登録内容確認書」を工事打合せ簿により監督員に提出しなければならない。

１０　建設工事の主たる部分について

建設工事の主たる部分の下請を禁止する工事について、あらかじめ「主たる部分」を指定する場合は、次に掲げるものとする。

主たる部分	

記載のない場合は、当初工事請負代金額が３００万円未満の建設工事（舗装工事、法面工事、建築一式工事を除く。）において、「主たる部分」の下請負を行わないこと。

建設工事の主たる部分とは、以下に掲げるもの以外のすべての部分を指し、当該 「工事の主たる部分」に該当するか否かの判断は、工事担当課の長及び監督員が行うものとする。

①　建設工事が一式工事である場合における他の工事種別に該当する工事
②　建設工事が専門工事である場合における他の工事種別に該当する付帯工事
③　仮設工に該当する工事
④　準備工に該当する工事
⑤　雑工に該当する工事
⑥　その他基礎的又は準備的工事に該当する工事

また、「設計図書」において、あらかじめ下請負を認めない部分を指定する場合がある。

あらかじめ指定された部分については、下請契約を締結することができない。

〔建設リサイクル法対象工事〕
2010.4.1 改正

特 記 仕 様 書

１．工事受注者は，本工事により発生する特定建設資材廃棄物（特定建設資材（アスファルト・コンクリート，コンクリート及び木材）が廃棄物になったものをいう。）について，「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」（平成１２年法律第１０４号。以下「法」という。）及び「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」（昭和４５年法律第１３７号。以下「廃棄物処理法」という。）を遵守し適正に処理しなければならない。

２．工事受注者は，その請け負った建設工事の全部若しくはその主たる部分又は他の部分から独立してその機能を発揮する工作物の工事以外の部分を他の建設業を営む者に請け負わせようとするときは，当該他の建設業を営む者に対して，法第１２条第２項に基づき，法第１０条第１項第１号から第５号までに掲げる事項について，別紙告知書様式で告げなければならない。

３．工事受注者は，工事着手前に，「再生資源利用計画書」及び「再生資源利用促進計画書」を本工事の監督員に提出しなければならない。

４．工事受注者は，「再生資源利用計画書」及び「再生資源利用促進計画書」に従い特定建設資材廃棄物が適正に処理されたことを確認し，工事完成時に，「再生資源利用実施書」及び「再生資源利用促進実施書」を本工事の監督員に提出しなければならない。

５．本工事で発生した建設資材廃棄物は，広島県（環境局）及び保健所設置政令市（広島市，呉市，福山市）が，廃棄物処理法に基づき許可した適正な施設で処理すること。

但し，建設資材廃棄物が，破砕等（選別を含む）により有用物となった場合，その用途に応じて適切に処理するものとする。

※　有用物：有価物たる性状を有するもの。有価物は客観的に利用用途に応じて適正な品質を有していなければ成らない。

６．本工事における再資源化に要する費用（運搬費を含む処分費）は，前記５．に掲げる施設のうち受入条件が合うものの中から，運搬費と受入費（平日の受入費用）の合計が最も経済的になるものを見込んでいる。従って，正当な理由がある場合を除き再資源化に要する費用（単価）は変更しない。

別紙

(1)　再生資源利用計画書（実施書）様式１・イ
(2)　再生資源利用促進計画書（実施書）様式２・ロ
(3)　告知書様式

〔情報共有システム対象工事〕

2021.4.1 改正

特　記　仕　様　書

1　本工事は、受発注者間の情報を電子的に交換・共有することにより、業務の効率化を図る情報共有システムの対象である。なお、運用にあたっては「広島県工事中情報共有システム運用ガイドライン」（以下「ガイドライン」という。）に基づき実施すること。

2　本工事で使用する情報共有システムは次とする。

広島県工事中情報共有システム（市町利用）

http://www.hdobokuk.or.jp/koujijyouhoushisutemu2.html

3　監督員及び受注者が使用する情報共有システムのサービス提供者（以下「サービス提供者」という。）との契約は、受注者が行い、利用料を支払うものとする。（システム利用に係る費用は共通仮設費率分に含まれている。）

4　工事完成時については、提出する必要のある工事成果品を電子納品すること。また、電子納品が困難な場合は、受発注者間で工事関係書類一覧表により事前協議すること。

5　受注者は、監督員及びサービス提供者から技術上の問題点の把握、利用にあたっての評価を行うためアンケート等を求められた場合、協力しなければならない。

別記

抽選一抜け方式に関する事項

本件は、抽選一抜け方式を適用する入札案件である。

抽選一抜け方式とは、競争入札に付す複数の案件において、落札候補者（又は落札者。以下同じ。）を決定する順位をあらかじめ定め、抽選で落札候補者となった者のその後の抽選による入札を無効とすることにより、順次その後の案件の落札候補者を決定する入札方式である。

本件と同一日に入札に付す抽選一抜け方式の対象工事は、次表（抽選一抜け方式対象工事一覧表）のとおりとし、取扱いは次のとおりとする。

抽選一抜け方式対象工事一覧表

開札日：令和８年１１月２６日

落札候補者 決定順位	工事名	工事場所
1	芦田川右岸線道路災害復旧工事	父石町
2	三室公園災害復旧工事	出口町
3	上山荒谷５号線道路災害復旧工事	荒谷町
4	出口本山線（その４）道路改良工事	本山町
5	荒谷日進線道路災害復旧工事	荒谷町
6	後別当線道路災害復旧工事	栗柄町
7	久佐諸毛線道路災害復旧工事	諸毛町
8	永野川河川道路災害復旧工事	諸毛町
9	鴫谷広谷線支線道路単独災害復旧工事	栗柄町

1　落札候補者の決定は、落札候補者決定順位欄に記載の番号順に行う。

2　入札において、予定価格の制限の範囲内で最低制限価格以上の価格のうち最も低い価格（以下「最低制限」という。）が複数あり抽選となる場合を抽選一抜け方式による入札とする。

3　抽選一抜け方式においては、１者が落札候補者となることができる対象工事の件数は１件までとする。

4　開札にあたっては、先に開札を執行した入札の落札候補者を含む有効な入札をすべて開札する。先の入札において抽選一抜け方式適用工事で落札候補者となった者が、以後の抽選一抜け方式適用工事に係る入札の落札候補者になったときはこれを無効とし、次順位者を落札候補者とする。

5　抽選一抜け方式の適用により、無効となる入札を除くと最低価格による入札が残らない場合には、当該案件は抽選一抜け方式を適用しないものとする。

6　事後審査の結果、落札候補者が資格要件を満たさないと認められた場合は、次順位者を落札候補者とする。この場合、当該決定は他の案件の落札結果等に影響を及ぼさないものとする。

7　一覧表内の一部の入札案件を中止した場合は、当該中止案件はなかったものとみなして、落札候補者決定順位を繰り上げ、入札手続きを続行する。ただし、入札の公正性を阻害するおそれのある場合は、入札及び契約の手続きを中止する場合がある。

（留意事項）

※　この方式では、１者１件に落札が制限されることになるので、工事現場に配置可能な技術者が１名しか確保できない場合でも、複数の案件の入札に参加することが可能である。

※　一般競争入札（事後審査型）の場合、入札参加資格要件（元請施工実績、配置予定技術者の経験等）が案

件ごとに異なる場合もあるため、注意が必要である。

※　指名競争入札の場合、指名された者が案件ごとに異なる場合もあるため、入札可能な案件が限定される場合（入札可能な案件が１件の場合）もある。

令　和　8　年　度

芦田川右岸線道路災害復旧工事

工事価格

消費税相当額

工事費計

府中市　　父石町　　地　内

工　　事　　概　　要			
復　旧　延　長	L=	36.2	m
現場吹付法枠(枠内モルタル吹付t=8cm)	A=	304.0	㎡

総括情報表

変更回数	0
適用単価地区	72 府中市
単価適用日	00-08.10.01(0)
諸経費体系	1 公共(一般)

	当世代	前世代
工種	04 道路改良工事	
施工地域・工事場所区分	00 補正なし	
復興補正区分	00 補正なし	
週休補正区分	00 補正なし	
現場事務所等の貸与区分	00 補正なし	
ＩＣＴ補正区分	00 補正なし	
冬期補正係数	00 補正なし	
緊急工事区分	00 通常工事 ０％	
前払金支出割合区分	00 補正無し	
契約保証区分	01 金銭的保証(0.04%)	

建設技能労働者や交通誘導員等の現場労働者にかかる経費として，労務費のほか各種経費（法定福利費の事業者負担額，労務管理費，安全訓練等に要する費用等）が必要であり，本積算ではこれらを現場管理費等の一部として率計上している。

≪凡例≫

Co ･･･コンクリート　　As ･･･アスファルト
DT ･･･ダンプトラック　　BH ･･･バックホウ
CC ･･･クローラクレーン　TC ･･･トラッククレーン
RTC･･･ラフテレーンクレーン

本工事費　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
本工事費					X1000
道路改良	1	式			Y1E01　　レベル1
道路土工	1	式			Y1E0101　　レベル2
掘削工	1	式			Y1E010101　レベル3
掘削 片切掘削 障害の無	90	m3			Y1E01010101レベル4
掘削 土砂 片切掘削	90	m3			SPK26040001 00 単第0 -0001　表
積込(ルーズ) 土砂 土量50,000m3未満	90	m3			SPK26040007 00 単第0 -0002　表
法面整形工	1	式			Y1E010107　レベル3
法面整形(切土部) 現場制約無	330	m2			Y1E01010701レベル4

本工事費　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
法面整形 切土部 現場制約無し レキ質土,砂及び砂質土,粘性土	330	m2			SPK26040024 00 単第0 -0003　表
残土処理工	1	式			Y1E010110　レベル3
土砂等運搬 土砂(岩塊・玉石混り土含む)	90	m3			Y1E01011002レベル4
土砂等運搬 小規模 土砂(岩塊・玉石混り土含む) DID区間有り　距離5.5㎞以下(4.5㎞超)	90	m3			SPK26040002 00 単第0 -0004　表
残土等処分	90	m3			Y1E01011003レベル4
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041
残土処分 土砂 ウツミ	90	m3			F0000000001 00
法面工	1	式			Y1E0104　　レベル2
法枠工	1	式			Y1E010403　レベル3

本工事費　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
モルタル吹付 枠内吹付厚8cm	201	m2			Y1E01040201レベル4
モルタル吹付工(枠内吹付) 枠内吹付厚8cm [規]100m2以上250m2未満	201	m2			SS000267　00 単第0 -0005　表
吹付枠 梁断面_300×300	304	m2			Y1E01040303レベル4
ラス張工 [規]250m2以上500m2未満	304	m2			SS000187　00 単第0 -0006　表
吹付枠工 梁断面_300×300 [規]250m以上500m未満	345	m			SS000185　00 単第0 -0007　表
水切モルタル 高炉	0.7	m3			Y4999　レベル4
モルタル練 高炉	0.7	m3			SPK26040158 00 単第0 -0008　表
天端モルタル 高炉	2	m3			Y4999　レベル4
モルタル練 高炉	2	m3			SPK26040158 00 単第0 -0008　表

本工事費　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
間詰モルタル 高炉	2	m3			Y4999　レベル4
モルタル練 高炉	2	m3			SPK26040158 00 単第0 -0008 表
モルタル吹付 吹付厚8cm	29	m2			Y1E01040201レベル4
モルタル吹付工 吹付厚8cm [規]100m2未満	29	m2			SS000267　00 単第0 -0009 表
付帯工	1	式			Y1I0106　レベル2
張コンクリート	1	式			Y3999　レベル3
張コンクリート	5	m3			Y4999　レベル4
コンクリート 無筋・鉄筋構造物 18-8-25(20)BB 人力打設	5	m3			SPK26040157 00 単第0 -0010 表
型枠 一般型枠 鉄筋・無筋構造物	4	m2			SPK26040159 00 単第0 -0011 表

本工事費　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
撤去工	1	式			Y1E0112　　レベル2
大型土のう	1	式			Y3999　　レベル3
大型土のう撤去	38	袋			Y4999　　レベル4
大型土のう撤去 設置作業半径_6m以下 設置面高さ_-3m≦H≦2m	38	袋			S1050057　　00 単第0 -0012　表
残土処理工	1	式			Y1E010110　レベル3
土砂等運搬 土砂(岩塊・玉石混り土含む)	30	m3			Y1E01011002レベル4
土砂等運搬 小規模 土砂(岩塊・玉石混り土含む) DID区間有り　距離5.5km以下(4.5km超)	30	m3			SPK26040002 00 単第0 -0004　表
残土等処分	30	m3			Y1E01011003レベル4
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041

本工事費　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
残土処分 大型土のう	30	m3			F0000000001 00
運搬処理工	1	式			Y1E011216　レベル3
現場発生品運搬 クレーン装置付 通称2t積2.9t吊	1	回			Y1E01121603レベル4
現場発生品及び支給品運搬 クレーン装置付 通称2t積2.9t吊 片道運搬距離5.0km以下(3.0km超)	0.08	t			SPK26040410 00 単第0 -0014　表
廃プラスチック類処分	80	kg			Y4999　レベル4
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041
廃プラスチック類処分	80	kg			F0000000002 00
仮設工	1	式			Y1E0115　レベル2
大型土のう	1	式			Y3999　レベル3

本工事費　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
大型土のう移設	38	袋			Y4999　　レベル4
大型土のう移設(撤去・再設置) 設置作業半径_6m以下 設置面高さ_-3m≦H≦2m	38	袋			S1050061　　00 単第0 -0015　表
＊＊直接工事費＊＊ #0020計=支給品等(材料),無償貸付					
共通仮設費率分					Z0019
計算情報…… 対象額…… 率……					
＊＊共通仮設費計＊＊					
＊＊純工事費＊＊					
現場管理費 計算情報…… 対象額…… 率……					
＊＊工事原価＊＊					

本工事費　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
一般管理費率分 計算情報…… 対象額…… 率……					前払補正率…
契約保証費 計算情報…… 対象額…… 率……					当初請対額 当初対象額
一般管理費計					
＊＊工事価格＊＊					
＊＊消費税相当額＊＊ 計算情報…… 対象額…… 率……					
＊＊工事費計＊＊					
＊＊契約保証費計＊＊					

施工単価表

掘削　　SPK26040001　　単第0 -0001　表

土砂 片切掘削　　1　m3　当り

機械構成比: 10.28%　労務構成比: 84.26%　材料構成比: 5.46%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価： 1,405.20000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
バックホウ(クローラ型) 標準型・超低騒音・排2014 バケット容量0.8m3	10.28%		バックホウ(クローラ型) 標準型・超低騒音型・排2014 バケット容量0.8m3		MTPC00174 MTPT00174
普通作業員	74.39%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
運転手(特殊)	9.87%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	5.46%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1　土砂			B=2　片切掘削		

施工単価表

積込(ルーズ)　　SPK26040007　　単第0 -0002　表

土砂　　土量50,000m3未満　　1　　m3　　当り

機械構成比:　40.95%　　労務構成比:　39.50%　　材料構成比:　19.55%　　市場単価構成比:　0.00%　　標準単価:　249.36000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
バックホウ(クローラ型) 標準型・排2014 バケット容量0.8m3	40.95%		バックホウ(クローラ型) 標準型・排出ガス対策型(2014年規制) バケット容量0.8m3		MTPC00153 MTPT00153
運転手(特殊)	39.50%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	19.55%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1　　土砂			B=1　　土量50,000m3未満		

施工単価表

法面整形　　SPK26040024　　単第0 -0003　表

切土部 現場制約無し　　レキ質土,砂及び砂質土,粘性土　　1　m2　当り

機械構成比: 8.80%　労務構成比: 81.51%　材料構成比: 9.69%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価： 964.64000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>バックホウ(クローラ型) 山積0.8m3(平積0.6) 排1～3,2011,2014	8.80%		バックホウ(クローラ型) バケット容量0.8m3		KTPC00018 KTPT00018
普通作業員	38.92%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
運転手(特殊)	22.44%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
土木一般世話役	20.15%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	9.69%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=2 切土部 D=2 レキ質土,砂及び砂質土,粘性土			C=2 現場制約無し E=1 -(全ての費用)		

施工単価表

土砂等運搬　　SPK26040002　　単第0 -0004　表

小規模 土砂(岩塊・玉石混り土含む)　　DID区間有り　距離5.5km以下(4.5km超)　　1　　m3　　当り

機械構成比:　25.12%　　労務構成比:　63.12%　　材料構成比:　11.76%　　市場単価構成比:　0.00%　　標準単価:　2,213.70000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 4t積級 通称4t積級	25.12%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 通称4t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00017T1 MTPT00017T1
運転手(一般)	63.12%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	11.76%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=2　小規模 C=1　土砂(岩塊・玉石混り土含む) F=26　距離5.5km以下(4.5km超)			B=5　バックホウ B容量0.28m3 D=2　DID区間有り		

施工単価表

モルタル吹付工(枠内吹付)　SS000267　単第0 -0005　表

枠内吹付厚8cm　[規]100m2以上250m2未満　1　m2　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
モルタル吹付工【材工共】 厚8cm	1.000	m2			
諸雑費	1	式			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	m2			
A=4　厚8cm E=2　枠内吹付の場合			B=4　[規]100m2以上250m2未満		

施工単価表

ラス張工　　SS000187　　単第0 -0006　表

[規]250m2以上500m2未満　　1　　m2　　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
ラス張工【材工共】 法面清掃及びラス・アンカーピン設置	1.000	m2			
諸雑費	1	式			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	m2			
A=3　　[規]250m2以上500m2未満			C=1　　-		

施工単価表

吹付枠工　　SS000185　　単第0 -0007　表

梁断面_300×300 [規]250m以上500m未満　　1　　m　　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
モルタル・コンクリート吹付【材工共】 梁断面300×300	1.000	m			
諸雑費	1	式			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	m			
A=3　梁断面_300×300			B=2　[規]250m以上500m未満		

施工単価表

モルタル練　　SPK26040158　　単第0 -0008　表

高炉　　1　　m3　　当り

機械構成比:　0.00%　労務構成比:　82.40%　材料構成比:　17.60%　市場単価構成比:　0.00%　　標準単価：　107,560.00000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
普通作業員	54.83%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	27.41%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
セメント(袋) 高炉B種 25kg/袋	11.92%		セメント 高炉B 25kg袋入		TTPC00063 TTPT00063
コンクリート用砂 細目(洗い)	5.68%		砂 細目(洗い)		TTPC00066 TTPT00066
積算単価			積算単価		EP001
A=1　高炉			B=1　-(全ての費用)		

施工単価表

モルタル吹付工　　SS000267　　単第0 -0009　表

吹付厚8cm　　[規]100m2未満　　1　　m2　　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
モルタル吹付工【材工共】 厚8cm	1.000	m2			
諸雑費	1	式			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	m2			
A=4　厚8cm E=1　-			B=5　[規]100m2未満		

施工単価表

コンクリート　　SPK26040157　　単第0 -0010　表

無筋・鉄筋構造物 18-8-25(20)BB　　人力打設　　1　m3　当り

機械構成比: 0.00%　労務構成比: 28.77%　材料構成比: 71.23%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価： 32,152.00000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
普通作業員	12.92%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	7.34%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	6.55%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
レディーミクストコンクリート指定品 呼び強度18,スランプ8,粗骨材20(25) W/C(60%),種別(高炉)	71.23%		生コンクリート 高炉 24-12-25(20) W/C 55%		TTPC00003 TTPT00343
積算単価			積算単価		E9999
A=1 無筋・鉄筋構造物 C=3 18-8-25(20)BB H=2 現場内小運搬無し K=1 -(全ての費用)			B=3 人力打設 F=2 一般養生 J=1 -		

施工単価表

型枠　　SPK26040159　　単第0 -0011　表

一般型枠　　鉄筋・無筋構造物　　1　m2　当り

機械構成比: 0.00%　労務構成比: 100.00%　材料構成比: 0.00%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価： 10,653.00000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
型わく工	46.74%		型わく工		RTPC00010 RTPT00010
普通作業員	25.15%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	9.42%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
積算単価			積算単価		EP001
A=1　一般型枠 C=1　-(全ての費用)			B=1　鉄筋・無筋構造物		

施工単価表

大型土のう撤去　　S1050057　　単第0 -0012　表

設置作業半径_6m以下　　設置面高さ_-3m≦H≦2m　　10　袋　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	0.087	人			
特殊作業員	0.087	人			
機-28_バックホウ(クローラ型)運転 クレーン付2.9t吊_B容量0.8m3	0.087	日			単第0-0013　表
諸雑費	0.4	%			#09
＊＊＊　合計　＊＊＊	10	袋			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	袋			
A=1　設置作業半径_6m以下			B=1　設置面高さ_-3m≦H≦2m		

施工単価表

機-28_バックホウ(クローラ型)運転　　S9035　　単第0 -0013　表
クレーン付2.9t吊_B容量0.8m3　　1　日　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
運転手(特殊)	1.00	人			
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	101.00	L			
<賃>バックホウ(クローラ型クレーン機能付) 山積0.8m3(平積0.6)吊能力2.9t 排1～3,2011,2014	1.21	供用日			
諸雑費	1	式			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	日			
A=5　クレーン付2.9t吊_B容量0.8m3 C=1　運転労務数量(人/日)			B=101　軽油消費量(L/日) D=1.21　機械賃料数量(供用日/日)		

施工単価表

現場発生品及び支給品運搬　　SPK26040410　　単第0 -0014　表

クレーン装置付 通称2t積2.9t吊　　片道運搬距離5.0km以下(3.0km超)　　1　t　当り

機械構成比: 13.14%　労務構成比: 83.98%　材料構成比: 2.88%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価： 2,877.20000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
トラック クレーン装置付 通称2t積級吊能力2.9t	13.14%		トラック クレーン装置付 通称2t積級 吊能力2.9t		MTPC00154 MTPT00154
運転手(特殊)	42.42%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
特殊作業員	41.56%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	2.88%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1　クレーン装置付 通称2t積2.9t吊 C=5　片道運搬距離5.0km以下(3.0km超)			B=2　DID区間有り		

施工単価表

大型土のう移設(撤去・再設置)　S1050061　単第0 -0015　表

設置作業半径_6m以下　設置面高さ_-3m≦H≦2m　10　袋　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	0.145	人			
特殊作業員	0.145	人			
普通作業員	0.145	人			
機-28_バックホウ(クローラ型)運転 クレーン付2.9t吊_B容量0.8m3	0.145	日			単第0-0016　表
諸雑費	0.2	%			#09
＊＊＊　合計　＊＊＊	10	袋			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	袋			
A=1　設置作業半径_6m以下			B=1　設置面高さ_-3m≦H≦2m		

施工単価表

機-28_バックホウ(クローラ型)運転　　S9035　　単第0 -0016　表
クレーン付2.9t吊_B容量0.8m3　　1　日　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
運転手(特殊)	1.00	人			
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	110.00	L			
<賃>バックホウ(クローラ型クレーン機能付) 山積0.8m3(平積0.6)吊能力2.9t 排1～3,2011,2014	1.52	供用日			
諸雑費	1	式			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	日			
A=5　クレーン付2.9t吊_B容量0.8m3 C=1　運転労務数量(人/日)			B=110　軽油消費量(L/日) D=1.52　機械賃料数量(供用日/日)		

市道芦田川右岸線

(集計表)

数　量　計　算　書

工事区分・工種・種別・細				規格	A 箇所	B 箇所	数量	積算数量	単位	摘要
レベル１	レベル２	レベル３	レベル４							
道路改良										
	土工									
		掘削工								
			土砂掘削	片切掘削	26.4	64.6	91.0	90	m3	
		法面整形工								
			切土法面整形	現場制約無	152.4	180.7	333.1	330	m2	
		残土処理工								
			残土処分	土砂(岩塊・玉石混り土含む)	26.4	64.6	91.0	90	m3	
	法面工									
		法枠工								
			モルタル吹付工	枠内付厚t=8cm	91.5	109.2	200.7	201	m2	
			吹付枠工	梁断面300×300	156.8	187.9	344.7	345	m	
			ラス張工	250㎡以上500㎡未満	138.5	165.6	304.1	304	m2	
			水切りモルタル	高炉	0.3	0.4	0.7	0.7	m3	
			天端モルタル	高炉	0.6	0.9	1.5	2	m3	
			間詰モルタル	高炉	0.6	1.0	1.6	2	m3	
			モルタル吹付工	吹付厚t=8cm	13.9	15.1	29.0	29	m2	すり付け
	付帯工									
		張りコンクリート工								
			コンクリート	18N/mm2　t=10cm	1.3	3.2	4.5	5	m3	
			型枠	一般型枠	1.7	2.4	4.1	4	m2	
	撤去工									
		大型土のう								
			大型土のう撤去		16.0	22.0	38.0	38	袋	
		残土処理工								
			残土処分	(大型土のう)	13.3	18.3	31.6	30	m3	
		運搬処理工								
			現場発生品運搬				1.0	1	回	(A箇所、B箇所を含む)
			廃プラスチック処分費		33.6	46.2	79.8	80	kg	
	仮設工									
		大型土のう								
			大型土のう移設		16	22	38.0	38	袋	

市道芦田川右岸線

(A箇所)

数　量　計　算　書

A箇所

工事区分・工種・種別・細別				規格	数量		単位	摘要
レベル１	レベル２	レベル３	レベル４					
道路災害復旧								
	土工							
		掘削工						
			土砂掘削	片切掘削	26.4		m3	第1号集計表
		法面整形工						
			切土法面整形	現場制約無	152.4		m2	第1号集計表
		残土処理工						
			残土処分	土砂(岩塊・玉石混り土含む)	26.4		m3	第1号集計表
	法面工							
		法枠工						第2号集計表
			モルタル吹付工	枠内吹付厚t=8cm	91.5		m2	
			吹付枠工	梁断面300×300	156.8		m	
			ラス張工	250㎡以上500㎡未満	138.5		m2	
			水切モルタル	高炉	0.3		m3	12.3m×0.24/10
			天端モルタル	高炉	0.6		m3	15m×0.41/10
			間詰モルタル	高炉	0.6		m3	
			モルタル吹付工	吹付厚t=8cm	13.9		m2	すり付け
	付帯工							
		張りコンクリート工						第3号集計表
			コンクリート	18N/mm2　　t=10cm	1.3		m3	
			型枠	一般型枠	1.7		m2	
	撤去工							
		大型土のう						第4号集計表
			大型土のう撤去		16.0		袋	
		残土処理工						第4号集計表
			残土処分		13.3		m3	
		運搬処理工						第4号集計表
			現場発生品運搬		1.0		回	
			廃プラスチック類処分		33.6		kg	
	仮設工							第5号集計表
		大型土のう						
			大型土のう移設		16.0		袋	

第1号　土工　集計表

種　　別	細　　別	規　　格	単位	数　　量						摘　　要
									合　　計	
掘削工										
	土砂掘削	片切掘削	m3	26.4					26.4	計第1表
法面整形										
	切土法面整形	現場制約無	m2	152.4					152.4	法枠工計算表 モルタル吹付計算表
作業残土処理工										
	作業残土処理	土砂(岩塊・玉石混り土含む)	m3	26.4					26.4	土工配分表

土　工　配　分　表

砂防土工

掘削工				
土砂掘削(片切掘削)	砂質土	m^3		26.4
土砂掘削	砂質土	m^3		

構造物土工				
土砂掘削(人力掘削)	砂質土	m^3		

構造物土工				
埋戻し	砂質土	m^3		

土工合計

掘削土			
砂質土	m^3	0 + 26.4 + 0.0 + 0	26.4

作業土工		
埋戻し	m^3	

処分工

残土処分	砂質土	m^3	26.4 － 0.0	**26.4**

計第 1 表

掘 削 工 計 算 表

測 点	距 離	土砂掘削 (片切掘削) C	平 均	立 積	土砂掘削 C2	平 均	立 積	摘 要
	-	0.0	-	-				
	0.6	2.3	1.15	0.7				
SECT.0	0.5	2.3	2.30	1.2				
SECT.3.0	3.0	1.1	1.70	5.1				
SECT.15.0	12.0	1.9	1.50	18.0				
	0.5	1.9	1.90	1.0				
	0.4	0.0	0.95	0.4				
計	17.0			26.4				

第2号　法 面 工　集計表

種　　別	細　　別	規　　格	単位	数　　量						摘　　要
				A箇所					合　　計	
法枠工										
	モルタル吹付工	吹付厚t=8cm	m2	91.5					91.5	計第2表
	吹付枠工	梁断面300×300	m	156.8					156.8	計第2表
	ラス張工	200㎡以上500㎡未満	m2	138.5					138.5	計第3表
	水切モルタル	高炉	m	12.3					12.3	法枠工展開図より
	天端モルタル	高炉	m	15.0					15.0	〃
	間詰モルタル	高炉	m3	0.6					0.6	計第4表
	モルタル吹付工	吹付厚t=8cm	m2	13.9					13.9	計第5表

計第 2 表

桁断面 B= 0.3 m

区分		面積(m2) A	横桁延長(m) Lx	縦桁延長(m) Ly	交点数 n	桁延長(m) L=(Σ Lx+ Σ Ly)−n*B	枠内面積(m2) A−L*B
A箇所	1段	138.5	15.0	9.2	54	156.8	91.5
			15.0	9.2			
			15.0	9.1			
			15.0	9.1			
			15.0	9.2			
			15.0	9.2			
				9.3			
				9.3			
				9.4			
合	計	138.5	90.0	83.0	54	156.8	91.5

計第 3 表

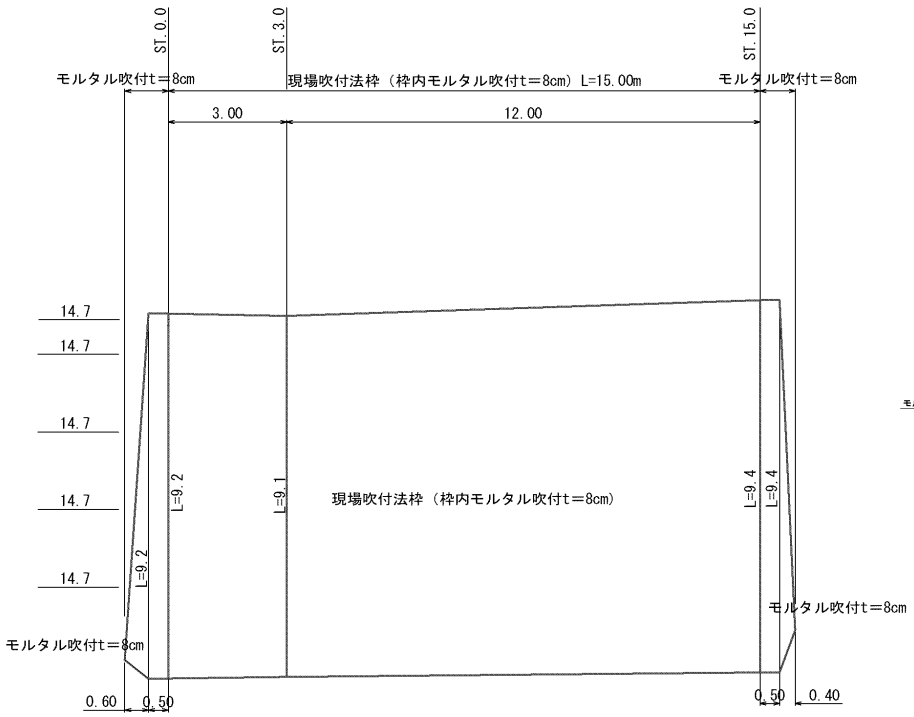
法 枠 工 計 算 表

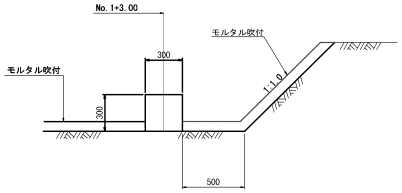
測 点	距 離	吹付法枠 SL	吹付法枠 平 均	吹付法枠 平 積	SL	W	控除面積	摘 要
SECT.0		9.2						
SECT.3.0	3.0	9.1	9.15	27.5				
SECT.15.0	12.0	9.4	9.25	111.0				
								ラス張り・切土法面整形
計	15.0			138.5				合計 138.5

計第 4 表　　間詰モルタル　　計　算　表

測　点	箇　所	モルタル 断面積	モルタル 平　均	モルタル 立　積	断面積	平　均	平　積	摘　要
A箇所横断図より								
								（平均×延長/10m）
SECT.0		0.36						
SECT.3.0	3.0	0.45	0.41	0.1				
SECT.15.0	12.0	0.36	0.41	0.5				
計	15.0			0.6				

計第　5　表　　モルタル吹付　　計　算　表





工　種	規格	計　算　式	数量	単位	備　考
すり付け部分					
モルタル吹付	吹付厚t=8cm	9.2*0.6*1/2+9.2*0.5+0.5*9.4+9.4*0.4*1/2=	13.9	m2	
法面整形		13.9	13.9	m2	

第3号　付帯工等　集計表

種　　別	細　　別	規　　格	単位	数　　量						摘　　要
				A箇所					合　　計	
張りコンクリート										
	コンクリート	18N/mm2	m3	1.3					1.3	計第6表
	型枠		m2	1.7					1.7	計第6表

計第 6 表　　張りコンクリート工　　計　算　表

測　点	箇　所	コンクリート 断面積	コンクリート 平　均	コンクリート 立　積	型枠 断面積	型枠 平　均	型枠 平　積	摘　要
箇所展開図より								W1　(平均×延長×0.1)
		0.50			0.1			0.50
SECT.0	0.5	0.66	0.58	0.1	0.1	0.10	0.1	0.66
SECT.3.0	3.0	0.89	0.78	0.2	0.1	0.10	0.3	0.89
SECT.15.0	12.0	0.56	0.73	0.9	0.1	0.10	1.2	0.56
	0.5	0.50	0.53	0.1	0.1	0.10	0.1	0.50
計	16.0			1.3			1.7	

第 4 号　　撤 去 工　　数 量 集 計 表

種　別	細　別	規　格	単 位	A箇所						計
撤去工										
	大型土のう		袋	16.0						16.0
残土処理工										
	残土工	地山換算土量	m3	16.0/1.2 13.3						13.3
廃プラ処分										
	運搬工	33.6kg	回	1.0						1.0
	廃プラ処分		k g	2.1kg/袋×16袋 33.6						33.6

第5号　仮設工等　集計表

種　　別	細　　別	規　　格	単位	数　　量						摘　　要
				A箇所					合　　計	
仮設工										
	大型土のう移設		袋	16.0					16.0	展開図より

市道芦田川右岸線

(B箇所)

数　量　計　算　書

B箇所

工事区分・工種・種別・細別				規格	数量		単位	摘要
レベル１	レベル２	レベル３	レベル４					
道路災害復旧								
	土工							
		掘削工						
			土砂掘削	片切掘削	64.6		m3	第1号集計表
		法面整形工						
			切土法面整形	現場制約無	180.7		m2	第1号集計表
		残土処理工						
			残土処分	土砂(岩塊・玉石混り土含む)	64.6		m3	第1号集計表
	法面工							
		法枠工						第2号集計表
			モルタル吹付工	枠内吹付厚t=8cm	109.2		m2	
			吹付枠工	梁断面300×300	187.9		m	
			ラス張工	250㎡以上500㎡未満	165.6		m2	
			水切モルタル	高炉	0.4		m3	17.6m×0.24/10
			天端モルタル	高炉	0.9		m3	21.8m×0.41/10
			間詰モルタル	高炉	1.0		m3	
			モルタル吹付工	吹付厚t=8cm	15.1		m2	すり付け
	付帯工							
		張りコンクリート工						第3号集計表
			コンクリート	18N/mm2　　t=10cm	3.2		m3	
			型枠	一般型枠	2.4		m2	
	撤去工							
		大型土のう						第4号集計表
			大型土のう撤去		22.0		袋	
		残土処理工						第4号集計表
			残土処分		18.3		m3	
		運搬処理工						第4号集計表
			現場発生品運搬		1.0		回	
			廃プラスチック処分費		46.2		kg	
	仮設工							第5号集計表
		大型土のう						
			大型土のう移設		22.0		袋	

第1号　土工　集計表

種　　別	細　　別	規　　格	単位	数　　量						摘　　要
									合　　計	
掘削工										
	土砂掘削	片切掘削	m3	64.6					64.6	計第1表
法面整形工										
	切土法面整形	現場制約無	m2	180.7					180.7	法枠工計算表 モルタル吹付計算表
残土処理工										
	残土処分	土砂(岩塊・玉石混り土含む)	m3	64.6					64.6	土工配分表

土　工　配　分　表

砂防土工

掘削工				
土砂掘削(片切掘削)	砂質土	m^3		64.6
土砂掘削	砂質土	m^3		0.0

構造物土工				
土砂掘削(人力掘削)	砂質土	m^3		

構造物土工				
埋戻し	砂質土	m^3		

土工合計

掘削土				
砂質土	m^3	0	+ 64.6 + 0.0 + 0	64.6

作業土工		
埋戻し	m^3	

処分工

残土処分	砂質土	m^3	64.6 － 0.0	**64.6**

計第 1 表

掘 削 工 計 算 表

測 点	距 離	土砂掘削 (片切掘削) C	平 均	立 積	土砂掘削 C2	平 均	立 積	摘 要
	-	0.0	-	-				
	1.4	4.8	2.40	3.4				
SECT.45.3	0.5	4.8	4.80	2.4				
SECT.49.0	3.7	1.6	3.20	11.8				
SECT.66.5	17.5	3.4	2.50	43.8				
	0.5	3.4	3.40	1.7				
	0.9	0.0	1.70	1.5				
計	24.5			64.6				

第2号　法 面 工　集計表

種　　別	細　　別	規　　格	単位	数　　量						摘　　要
				A箇所					合　　計	
法枠工										
	モルタル吹付工	吹付厚t=8cm	m2	109.2					109.2	計第2表
	吹付枠工	梁断面300×300	m	187.9					187.9	計第2表
	ラス張工	250㎡以上500㎡未満	m2	165.6					165.6	計第3表
	水切モルタル	高炉	m	17.6					17.6	法枠工展開図より
	天端モルタル	高炉	m	21.8					21.8	〃
	間詰モルタル	高炉	m3	1.0					1.0	計第4表
	モルタル吹付工	吹付厚t=8cm	m2	15.1					15.1	計第5表

計第 2 表

桁断面 B= 0.3 m

区分		面積(m2) A	横桁延長(m) Lx	縦桁延長(m) Ly	交点数 n	桁延長(m) L=(Σ Lx+ Σ Ly)−n*B	枠内面積(m2) A−L*B
B箇所	1段	165.6	21.5	8.6	65	187.9	109.23
			12.1	8.6			
			18.8	8.6			
			21.2	8.6			
			21.2	8.6			
			21.2	8.5			
				8.1			
				7.7			
				7.2			
				6.3			
				5.5			
				5.1			
合	計	165.6	116.0	91.4	65	187.9	109.23

計第 3 表

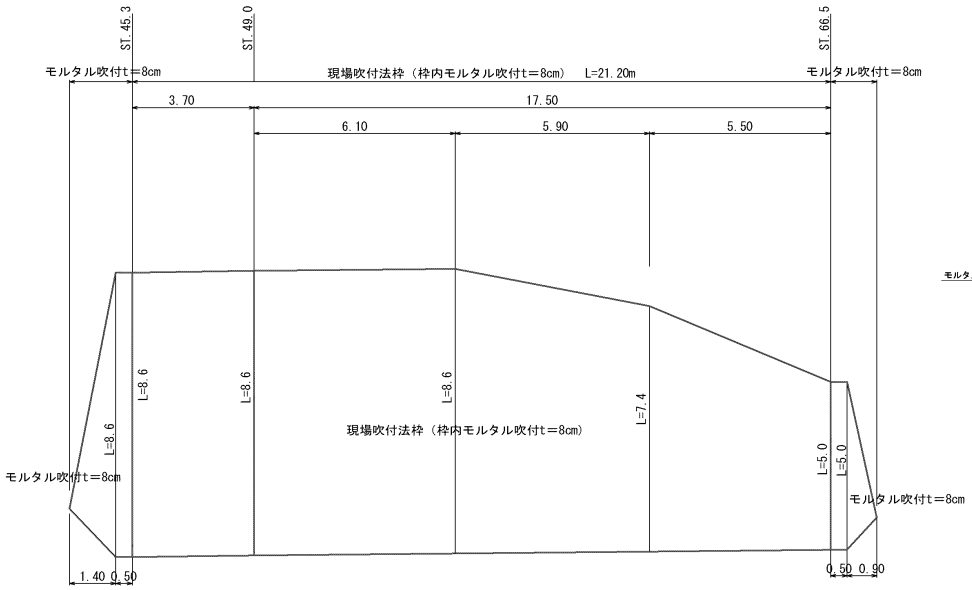
法 枠 工 計 算 表

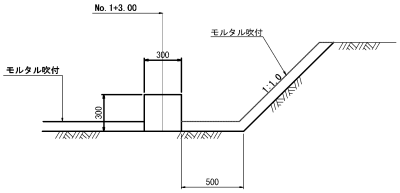
測 点	距 離	吹付法枠 SL	吹付法枠 平 均	吹付法枠 平 積	SL	W	控除面積	摘 要
SECT.45.3		8.6						
SECT.49.0	3.70	8.6	8.60	31.8				
	6.10	8.6	8.60	52.5				
	5.90	7.4	8.00	47.2				
SECT.66.5	5.50	5.0	6.20	34.1				
								ラス張り・切土法面整形
計	21.2			165.6				合計 165.6

計第 4 表　　間詰モルタル　　計　算　表

測　点	箇　所	モルタル 断面積	モルタル 平　均	モルタル 立　積	断面積	平　均	平　積	摘　要
B箇所横断図より								
SECT.45.3		0.36						
SECT.49.0	3.7	0.45	0.41	0.2				(平均×延長/10m)
SECT.66.5	17.5	0.45	0.45	0.8				(平均×延長/10m)
計	21.2			1.0				

計第　5　表　　モルタル吹付　　計　算　表





工　種	規格	計　算　式	数量	単位	備　考
すり付け部分					
モルタル吹付	吹付厚t=8cm	8.6*1.4*1/2+8.6*0.5+0.5*5.0+5.0*0.9*1/2=	15.1	m2	
法面整形		15.1	15.1	m2	

第3号　付帯工等　集計表

種　　別	細　　別	規　　格	単位	数　　量						摘　　要
				B箇所					合　　計	
張りコンクリート										
	コンクリート	18N/mm2	m3	3.2					3.2	計第6表
	型枠		m2	2.4					2.4	計第6表

計第 6 表　　張りコンクリート工　　計　算　表

測　点	箇　所	コンクリート			型枠			摘　要
		断面積	平　均	立　積	断面積	平　均	平　積	
								W1　(平均×延長×0.1)
		0.50	-	-	0.1	-	-	0.50
SECT.45.3	0.5	1.71	1.11	0.1	0.1	0.10	0.1	1.71
SECT.49.0	3.7	1.56	1.64	0.6	0.1	0.10	0.4	1.56
	6.1	1.45	1.51	0.9	0.1	0.10	0.6	1.45
	5.9	1.35	1.40	0.8	0.1	0.10	0.6	1.35
SECT.66.5	5.5	1.26	1.31	0.7	0.1	0.10	0.6	1.26
	0.5	0.5	0.88	0.0	0.1	0.10	0.1	0.50
計	22.2			3.2			2.4	

第 4 号　　撤 去 工　　数 量 集 計 表

種　　別	細　　別	規　　格	単 位	B箇所						計
撤去工										
	大型土のう		袋	22.0						22.0
残土処理工										
	残土処分	地山換算土量	m3	22.0/1.2 18.3						18.3
廃プラ処分										
	現場発生品運搬	33.6kg	回	1.0						1.0
	廃プラスチック類処分		k g	2.1kg/袋×22袋 46.2						46.2

第5号　仮設工等　集計表

種　　別	細　　別	規　　格	単位	数　　量						摘　　要
				B箇所					合　　計	
仮設工										
	大型土のう		袋	22.0					22.0	展開図より